

記入例

様式2

2部提出・・・正本・副本(控)  
 4・5・6月分 ⇒ 7月末まで提出  
 7・8・9月分 ⇒ 10月末まで提出  
 10・11・12月分 ⇒ 1月末まで提出  
 1・2・3月分 ⇒ 4月末まで提出

記載しない

※事業場番号

汚濁負荷量測定結果報告書

令和元年10月17日

(宛先) 松戸市長

事業場所在地 松戸市〇〇町1-2-3  
 事業場名 千葉麦酒㈱松戸工場  
 届出者住所 千葉市中央区市場町1-1  
 届出者名 千葉麦酒株式会社  
 代表取締役 千葉太郎  
 連絡先電話番号 047-34X-XXXX

汚濁負荷量の測定等に係る実施細目に基づき、令和元年7月から9月の結果について、次のとおり報告します。

1 COD

項目	令和元年7月	令和元年8月	令和元年9月
月間測定日数(欠測日数)(日)	30 (1)	←1日欠測があった場合	
平均総排水量(m <sup>3</sup> /日)	481	←冷却水等を含む総排水量の平均値	
平均特定排出水量 (m <sup>3</sup> /日)	431	7月の特定排出水の月間平均値、 月間最大値、月間最小値	
最大 " (m <sup>3</sup> /日)	461		
最小 " (m <sup>3</sup> /日)	399		
平均COD濃度 (mg/l)	50.1	COD濃度の月間平均値、 月間最大値、月間最小値 小数点以下第1位まで記入(四捨五入)	
最大日平均COD濃度(mg/l)	59.8		
最小 " (mg/l)	43.7		
平均COD負荷量 (kg/日)	21.6	COD負荷量の月間平均値、 月間最大値、月間最小値 小数点以下第1位まで記入(切り捨て)	
最大 " (kg/日)	26.9		
最小 " (kg/日)	18.6		
総量規制基準(kg/日)	30.4	←算定した数値を記入	
超過日数(日)	0	←総量規制基準超過がない場合	
水質自動計測器稼働率(%)	$716/744 \times 100 = 96\%$	←31日(24×31回)中欠測28時間の場合	
年間最大特定排出水量(m <sup>3</sup> /日)	467	令和元年6月25日	
年間最大COD負荷量 (kg/日)	59.8	令和元年7月21日	

年度内(4月～翌3月)の最大値を記載。  
 この例の場合、平成31年4月から9月までの最大値を記載

2 窒素含有量

項目	令和元年7月	令和元年8月	令和元年9月
月間測定日数(欠測日数)(日)	29 (2)	←2日欠測があった場合	
平均総排水量(m <sup>3</sup> /日)	481	←冷却水等を含む総排水量の平均値	
平均特定排出水量 (m <sup>3</sup> /日)			
最大 " (m <sup>3</sup> /日)			
最小 " (m <sup>3</sup> /日)			
平均窒素含有量(mg/l)	26.2	} 窒素含有量の月間平均値、 月間最大値、月間最小値 小数点以下第1位まで記入(四捨五入)	
最大日平均窒素含有量(mg/l)	28.3		
最小 " (mg/l)	25.1		
平均窒素負荷量 (kg/日)	12.9	} 窒素負荷量の月間平均値、 月間最大値、月間最小値 小数点以下第1位まで記入(切り捨て)	
最大 " (kg/日)	13.7		
最小 " (kg/日)	10.6		
総量規制基準(kg/日)	14.35	←算定した数値を記入	
超過日数(日)	0	←総量規制基準超過がない場合	
水質自動計測器稼働率(%)	690/744×100=	←31日(24×31回)中欠測54時間の場合	
年間最大窒素負荷量 (kg/日)	14.1	平成31年4月11日	

年度内(4月~翌3月)の最大値を記載

3 リン含有量

項目	令和元年7月	令和元年8月	令和元年9月
月間測定日数(欠測日数)(日)	31 (0)	←欠測がなかった場合	
平均総排水量(m <sup>3</sup> /日)	481	←冷却水等を含む総排水量の平均値	
平均特定排出水量 (m <sup>3</sup> /日)			
最大 " (m <sup>3</sup> /日)			
最小 " (m <sup>3</sup> /日)			
平均りん含有量(mg/l)	4.08	} リン含有量の月間平均値、 月間最大値、月間最小値 小数点以下第2位まで記入(四捨五入)	
最大日平均りん含有量(mg/l)	4.22		
最小 " (mg/l)	3.98		
平均りん負荷量 (kg/日)	1.86	} リン負荷量の月間平均値、 月間最大値、月間最小値 小数点以下第2位まで記入(切り捨て)	
最大 " (kg/日)	1.96		
最小 " (kg/日)	1.59		
総量規制基準(kg/日)	2.15	←算定した数値を記入	
超過日数(日)	0	←総量規制基準超過がない場合	
水質自動計測器稼働率(%)	716/744×100	←31日(24×31回)中欠測28時間の場合	
年間最大りん負荷量 (kg/日)	1.96	令和元年9月27日	

年度内(4月~翌3月)の最大値を記載

# V 報 告

## 1 測定結果の報告

指定地域内特定事業場の設置者は、汚濁負荷量測定記録表から毎月の集計結果を汚濁負荷量測定結果報告書（細目様式2）にとりまとめ、表8（55頁）の届出先に提出してください。なお、報告書には、毎月の汚濁負荷量測定記録表の写しを添付してください。

報告は、「4、5、6月」、「7、8、9月」、「10、11、12月」、「1、2、3月」の年4回で、提出期限は各最終月の翌月末日です。

### 【記載方法】

(1) 事業場番号は記載しないでください。

(2) 月間測定（欠測）日数

ア 月間25日稼働で25日測定した場合は、欠測日は0とし、25(0)と記入してください。

また、月間4日測定義務があり、4日測定した場合も欠測日は0としてください。

イ 自動計測器が故障し、指定計測法で補足した場合も欠測日としてください。（欠測日とは、全日（24時間）欠測した日とします。）

ウ 測定個所が複数ある場合は、1測定箇所欠測した場合も欠測日とします。

(3) 平均総排水量

ア 事業場の総排水量の平均値を四捨五入により整数で記入してください。排水口が複数の場合には合計水量を記入してください。

イ 月間25日測定の場合は、25日の合計を25で除してください。

ウ 総排水量を定期的に測定していない場合は、届出水量とし、㊦を付して記入してください。

(4) 特定排水量

ア その月の特定排水の実測水量の平均値を平均特定排水量欄に整数で記入してください。

イ 特定排水が2以上の場合は、平均特定排水量は1日毎に合計したものの月平均としてください。

ウ 毎日測定のもの、7日に1回測定のものがある場合は、後者の測定値は、その週は一定とし、毎日の合計を求めその月の平均を計算してください。

エ 最大特定排水量欄、最小特定排水量欄にはそれぞれその月の最大値、最小値を整数で記入してください。

オ 月1回測定の場合は、最大、最小の欄は記入不要です。

(5) 濃度

- ア 平均COD濃度欄、窒素（りん）含有量欄には、その月の月平均負荷量（kg／日）を月平均特定排出水量（ $m^3$ ／日）で除した数値を記入してください。
- イ 最大（最小）日平均COD濃度（窒素含有量、りん含有量）欄には、各日の負荷量（kg／日）を各日の特定排出水量（ $m^3$ ／日）で除した数値のうちその月の最大値、最小値を記入してください。
- ウ 月1回測定の場合は、最大、最小の欄は記入不要です。
- エ 四捨五入により、COD濃度及び窒素含有量については、小数点以下第1位まで、りん含有量については、小数点以下第2位まで記入してください。

(6) 負荷量

- ア 平均COD（窒素、りん）負荷量欄には、その月の各日の負荷量（kg／日）の平均値を記入してください。
- イ 最大（最小）負荷量欄には、その月の各日の負荷量（kg／日）の最大（最小）値を記入してください。
- ウ 月1回測定の場合は、最大、最小の欄は記入不要です。
- エ COD負荷量及び窒素負荷量については、小数点以下第2位を切り捨て小数点以下第1位まで、りん負荷量については、小数点以下第3位を切り捨て小数点以下第2位まで記入してください。

(7) 総量規制基準

事業場全体の総量規制基準を記入してください。なお、値の端数処理（四捨五入、切り捨て等）は行わないでください。また、月の途中で基準が変更となった場合にはその旨記入してください。

(8) 超過日数

総量規制基準を超過した日数を記入してください。

(9) 水質自動計測器稼働率

- ア 水質自動計測器設置事業場のみ記入してください。複数の計測器がある場合は、別紙等に記入してください。
- イ 稼働率は稼働時間を総時間で除してください。
- ウ 24時間以上連続して欠測した場合には、細目様式4「水質自動計測器及び自動流量計等欠測報告書」を添付してください。

(10) 年間最大特定排出水量、年間最大COD（窒素、りん）負荷量

当該年度における提出時点までの最大特定排出水量、最大COD（窒素、りん）負荷量を記入してください。また、併せてその日付を記入してください。